木下小だより「あすなろ」

令和４年
６月１６日号
（第４号）
印西市立木下小学校
児童数　２３１名

梅雨寒にしては、このところ気温の低い日が続いています。体調管理の難しさはもちろんのこと、例年にない気温の低さや日照時間の短さに、お米や野菜の生育状況は大丈夫だろうかと心配になってしまいます。今年は、子どもたちが楽しみにしている水泳学習を行います。夏らしい日差しが待ち遠しいです。

さて、学校だよりですが、今月から月２回発行をめざします。子どもたちの学校での様子は毎日のＨＰでお伝えしていますが、学校経営に関することや保護者の皆様にお伝えしたいこと等を発信していく予定です。よろしくお願いいたします。

ふるさと木下



木下小学校の自慢は、なんといっても１５０年の歴史でしょう。１・２年生の学校探検や先日のスタンプラリー（たてわり集会）で校長室を訪れた子どもたちは、皆歴代校長先生方の写真にびっくりします。この３月にご退職された増田賢一校長先生は３４代目になります。歴史とともに、ＰＴＡの皆さんや地域の方のお話から、ずっと丘の上の学校として愛されてきたことを感じます。今年から校医を務めてくださっている安孫子内科胃腸科クリニック（大森）の大久保先生のお母様が木下小学校を卒業されたと、内科検診の後お話くださいました。



子どもたちは、総合的な学習の時間などで地域の方からお話を聞いたり、交流をしたりしています。コロナ禍でできない活動もありますが、地域の学習や地域の方々との交流を通して、自分が住む木下の町にもっともっと誇りと愛着を持って欲しいと願います。木下はニュータウンとは質の違う素晴らしさをたくさんもっている町です。私は木下が大好きです。

１年生　ザリガニ釣り名人

地域の方がボランティアでザリガニ釣りに来てくださいました。事前に危険がないように足場の確認をしたり、草刈りをしたりしてくださいました。

みなさん、ありがとうございます。

４年生　木下のお祭りについて

木下祭礼若衆の川村さんと鈴木さんが、木下祭礼（竹袋稲荷神社の祭礼）、平岡鳥見神社の獅子舞、別所の獅子舞について、お囃子をバックに写真を使ってお話しくださいました。今年は祭礼を行う予定だそうです。

６年生　木下歴史散策

木下まち育て塾の伊藤さんが、半日かけて木下の名所旧跡を巡りながら木下の歴史についてお話しくださいました。６月１５日発行の「広報いんざい」（8 面）にその様子が掲載されています。